



# 平成29年3月期 第1四半期決算説明資料

株式会社エスクリ

# 平成29年3月期 第1四半期決算の概要

連結売上高は、前期出店施設の通期稼働により、**前期比21.6%増**。

単位:百万円

	13期1Q	14期1Q	対前期 増減率	14期 (計画)	対計画 進捗率
売上高	5,341	6,494	21.6%	30,180	21.5%
売上原価	2,265	2,845	25.6%	-	-
売上総利益	3,075	3,649	18.7%	-	-
販売費及び 一般管理費	3,276	3,889	18.7%	-	-
営業利益(損失)	△201	△240	-	1,200	-
(利益率)	-	-	-	4.0%	-
経常利益(損失)	△217	△294	-	1,055	-
(利益率)	-	-	-	3.5%	-
四半期純利益(損失)	△146	△220	-	-	-
1株当たり 四半期純利益(損失)	△12.36	△18.56	-	50.57	-

## ■前期・計画比較

(売上)

- ・エスクリの売上増  
(793百万円)
- ・EMPの売上増  
(462百万円)
- ・渋谷の売上減  
(△177百万円)

(利益)

- ・2Q累計も損失見込であるが、  
計画線にて堅調に推移。

セグメント別でも各事業が、ほぼ**計画どおりに推移**。

（ブライダル関連事業）

前期出店&買収施設の通期稼働により増加、ルクリアモーレ（少人数婚）、宴会も好調。

（建築不動産関連事業）

竣工タイミングにより、前期比ではマイナス。

【セグメント区分の変更】

当期より、従来『その他』に区分していた、宴会・レストラン事業等を『ブライダル関連事業』として、不動産・コンテナ事業等を『建築不動産関連事業』として集約し、前期数値も遡及適用。

単位：百万円

	13期1Q	14期1Q	増減	前期比
ブライダル関連事業	4,449	5,706	1,257	128.3%
建築不動産関連事業	824	647	△177	78.5%
その他	66	140	73	209.7%
合計	5,341	6,494	1,153	121.6%

【Core Bridal】平均組単価は前期比マイナスも受注は回復傾向継続。

■ Core Bridal Service (※1)

	13期1Q	14期1Q	前年同期比
施行件数(件)	858	994	115.9%
受注件数(件)	1,454	1,582	108.8%
受注残件数(件)	2,601	3,203	123.1%
平均組単価(千円)	3,957	3,832	96.9%

【New Bridal】前期比で大幅な伸び。受注残件数も好調に推移。

■ New Bridal Service (※2)

	13期1Q	14期1Q	前年同期比
施行件数(件)	385	714	185.5%
受注件数(件)	598	875	146.3%
受注残件数(件)	778	1,419	182.4%

※1 Core Bridal Serviceは、前期までの開示基準に合わせて開示しています。具体的には、直営の一定規模以上の挙式・披露宴を対象。

※2 New Bridal Serviceは、子会社、運営受託、少人数婚、得ナビ(提携会場分)の数値が含まれております。

※3 海外送客分については、実績として存在するものの、既存サービスとの入り繰りが発生する可能性があるため、数値から除外。

竣工タイミングにより、第1四半期は前期比でマイナス。

単位:百万円

	13期1Q	14期1Q	増減	前期比
外部顧客への売上高	824	647	△177	78.5%
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	105	56	216.5%
合計	873	753	△120	86.2%
セグメント利益	35	1	△33	3.9%

- ・当期は新規出店予定がないため、対エスクリの工事による内部売上は少額の予定。
- ・受注環境に変化はなく計画通りに推移。

# (連結) 貸借対照表に係る要点

長期運転資金の調達により、**流動比率を改善**。

単位:百万円

	2016/3末 (連結)	2016/6末 (連結)	増減
資産合計	24,652	25,477	824
流動資産	6,409	7,454	1,045
固定資産	18,243	18,022	△220
負債合計	19,302	20,393	1,091
流動負債	8,061	8,144	82
固定負債	11,240	12,248	1,008
純資産合計	5,350	5,083	△266
1株当たり純資産(円)	449.16	425.43	△23.73
自己資本比率	21.6%	19.9%	—

【資産】	
現金及び預金の増加	1,300百万円
【負債】	
長期借入金の増加	1,032百万円
【純資産】	
純損失の計上	△220百万円
配当の実施	△53百万円

# 第14期(進行期)の見通し



## (1)新規出店について

- ・開発型の案件の新規については、**当初より第14期は計画されていない。**
- ・事業譲渡型の居抜き案件についても**基本的に第14期の出店を行わない。**
- ・第15期以降の新規出店についても、検討は行うが、**基本的に既存店の動向を見極めて判断**する。

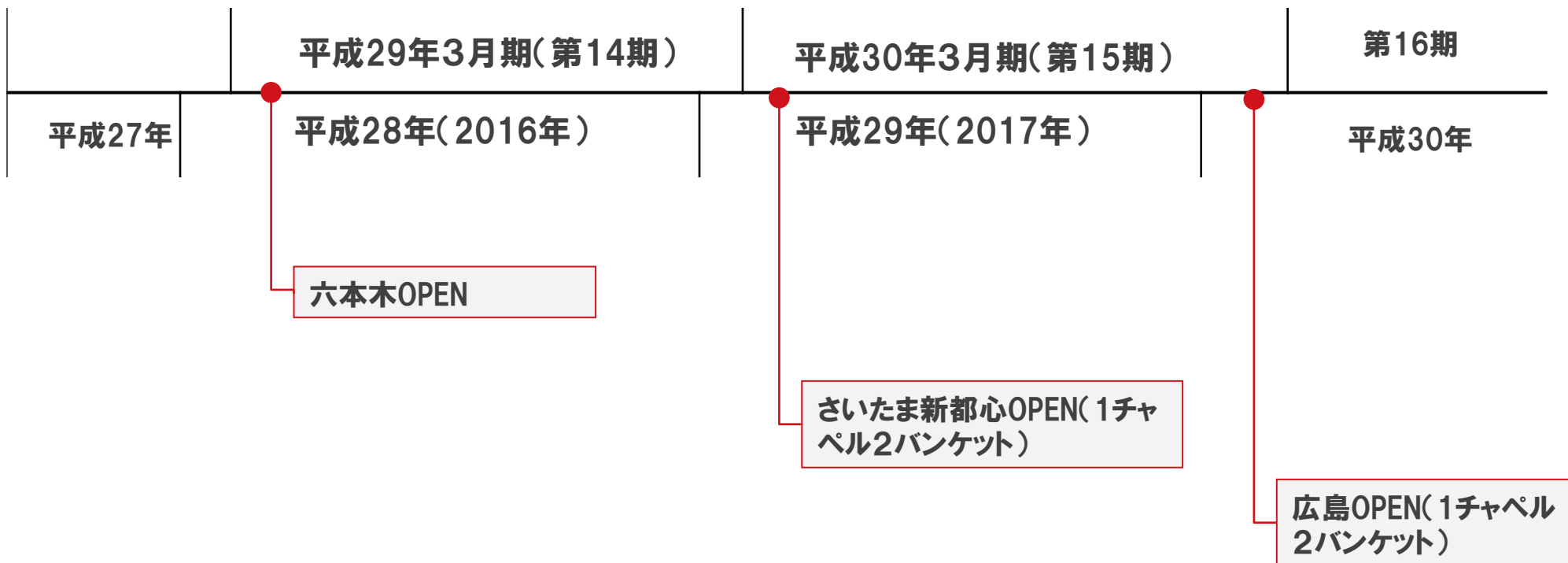
## (2)人材・組織体制について

- ・人的リソース不足は解消に向かいつつあり、**今後も採用を継続的に強化**していく。
- ・リソースが充足しても、その後の**育成には時間がかかる**ため、第14期中に目途をつけ組単価の回復を目指す。
- ・出店がないことで従業員の転勤が極小化されるため、それぞれの**既存店でオペレーション強化を徹底**する。
- ・第14期は**営業組織の体制再構築に集中する方針。**

## (3)販促・集客について

- ・紙媒体の集客が弱く推移しているが、ここで広告宣伝費を絞るとリスクが高いため、コストは絞らない。
- ・引き続き集客媒体の多様化を推進し、新しい集客スキームを早期に確立する（**タイアップ、キャンペーン等**）。
- ・媒体別の効果測定をさらに深掘りし、より効果的な媒体にボリュームをシフトしていく。

# 今後の出店計画



- ・第14期は出店の予定なし。
- ・平成29年春頃さいたま新都心、平成30年春頃広島。

## 1 エスクリマネジメントパートナーズ

- ① 第14期は基本的に出店しない方針。
- ② 第15期の候補となる案件が出た場合、第14期の実績を見ながら個別判断。
- ③ EMP全社ベースでは確実に黒字転換し、業績が伸長していく見通しがあるが、現状では地域によりPLにバラつきが出ているので、全事業所が黒字転換できるように赤字事業所の改善・強化を重点方針と位置付ける。

## 2 その他のニューブライダル

- ① シェア拡大戦略により短期間で売上が大きく伸長した点は一定の評価ができる。
- ② しかしながら、営業生産性や投下コストという面で、当初の計画と乖離が出ている事業・サービスがあるのも事実。
- ③ 第1四半期までに個別事業・サービスの見極めを完了し、期待どおりの収益を挙げられないと判断された事業・サービスはクローズする。  
⇒ 人員を再配置することで、コア・ブライダルの回復を加速させる。

## ■第14期は、既存店の復調と体質強化を推進する期と位置づける

単位:百万円

	第13期 (実績)	第14期 (計画)	前期比 増減率
売上高	26,226	30,180	15.1%
売上原価	11,605	12,720	9.6%
(原価率)	44.2%	42.1%	—
売上総利益	14,621	17,459	19.4%
販管費	13,782	16,259	18.0%
営業利益	839	1,200	43.0%
(営業利益率)	3.2%	4.0%	—
経常利益	787	1,055	34.1%
当期利益	359	600	66.8%

### ■前期比較

(売上)

- ・連結4社体制  
(エスクリ、EMP、渋谷、ウェブスマイル)
- ・第13期出店店舗の通年稼働とEMP  
の通年稼働により15.1%増収

(営業利益)

- ・EMPが通年稼働で黒字化の見込み
- ・ウェブスマイルも増収・増益見込み

# 【参考資料】 中期事業構想について

当社は、第11期初(2013年5月)に中期事業構想を公表し、第15期(2018年3月期)に連結売上高400億円という構想の下、事業の発展・拡大に邁進してまいりました。

おかげさまで、第12期(2013年5月期)においては、連結売上高228億円、連結営業利益24億円と順調に成長を重ねて来ております。

## 【参考】現状の中期事業構想

○ 第15期 「売上高400億円 営業利益率11%以上」



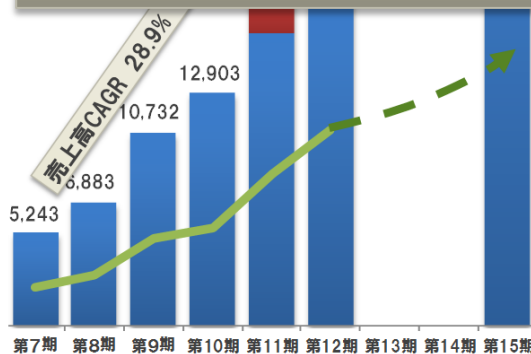
■ 改定理由

① 構想発表から2年が経過

「一旦、構想は据え置き、第14期の推移を見てアップデート」

第14期で300億超の水準となり、トップラインだけであれば視野に入るが、

利益回復を最優先し、一旦、シェア拡大戦略を凍結(無理に売上を追わない)



・埼玉(平成30年3月期オープン)

連結売上高営業利益率11%以上

- ✓ 営業利益率を維持・向上を図り、市場シェアの向上を目指す  
⇒ 営業利益と同様に、投資効率も重視
- ・新規出店に係る設備投資を最適化
- ・既存店の修繕・改装コストの管理
- ・設備投資の少ない運営受託やコンサルティングを推進

たこと

投資家の皆様がより理解しやすいように改定(詳細化)を実施します。



## ～第2の成長ステージへ突入しました～

お問合せ先 株式会社エスクリ IR担当

東京都港区西新橋2-14-1 興和西新橋ビルB棟

URL : <http://www.escrit.jp/ir/>

E-mail : [ir@escrit.jp](mailto:ir@escrit.jp)

本資料に掲載されている事項は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。本資料に含まれる将来の予想に関する各数値は、資料作成時点で入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。